

# 平成 28 年度 山形県後発医薬品安心使用促進協議会 議事録

日時：平成 28 年 6 月 29 日（水） 午後 3 時～4 時 30 分

場所：県庁 902 会議室

委員互選により会長に阿彦委員、副会長に中条委員が選出された。

当協議会設置要綱第 6 条の規定では会長が議長となるが、会長欠席により副会長が議事を進行。

## 1 報告

### (1) ジェネリック医薬品の使用状況について

事務局	(資料 P 1 ～ P 2 に基づき説明)
-----	-----------------------

### (2) ジェネリック医薬品の使用促進について

本間委員 (県保険者協議会)	(使用割合、軽減額通知サービス等について別添資料について説明)
中条委員 (医師会)	・ 置賜地区において、使用割合が平均を下回るのはなぜか。
本間委員 (県保険者協議会)	・ 置賜地区では、健康診断受診率も低く、健康への意識に温度差があるためではないかと思われる。
岡寄委員 (県薬剤師会)	・ 平成 26 年に軽減額通知サービスの通知送付者数が多かったのはなぜか。
本間委員 (県保険者協議会)	・ 通知を発出する基準となる月当たりの金額を下げたため。

### (3) 平成 27 年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業について

事務局	(資料 P 3 ～ P 6 に基づき説明)
-----	-----------------------

## 2 協議事項

### 平成 28 年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業について

#### (1) 広報媒体による普及啓発

##### ・ ラジオ CM について

事務局	(資料 P 8 について説明)
議長	・ ラジオ CM についてはいかがか。
大江委員 (県歯科医師会)	・ ラジオ番組「ドクターアドバイス」を聞いている人が多く、そのあとにジェネリックに関する広報が流れるので効果的である。

	(昨年度と同様のラジオCMでよい旨の意見多数)
議長	・ラジオCMは昨年度と同様の内容とし、事務局で対応されたい。

## ・リーフレットの作成について

議長	・リーフレットの作成についてはいかがか。
大石委員 (県薬事工業協会)	・「新薬に比べ3割から5割ほど価格が安く」の記載について、実際は6割安くなっているものもあることから、6割としてはいかがか。
齋藤委員 (県消費生活団体連絡協議会)	・負担額については、インパクトが大きい方がよい。
本間委員 (県保険者協議会)	・「月々3,000円の薬代が月々〇〇円、年間〇〇円安くなる」といったように、具体的に記載したほうがインパクトは強い。けんぽのリーフレットを参考にされてはいかがか。
岡寄委員 (県薬剤師会)	・お薬手帳の活用について記載してはいかがか。ジェネリックに変更した医薬品が何か医師に伝わりやすく、患者の手元にも記録が残る。
羽太委員 (県病院薬剤師会)	・分割調剤のくだりは、一般の方には難しいので削除しても良いのではないか。 ・山形県でのジェネリック医薬品の使用割合が全国4位の状況を踏まえると、タイトルの「使用してみませんか」という表現ではなく、国の目標に向かい、山形県も目標を目指すのだといったニュアンスを含むものがよい。
大江委員 (県歯科医師会)	・ジェネリック医薬品の普及に関する懸念材料が、患者の不安要素なのか、処方する医師の不安要素なのか、そちらの対策が気になりである。
佐藤委員 (県介護支援専門員協会)	・「ジェネリック医薬品を希望します」と記載されたカードの活用についても記載してはいかがか。
本間委員 (県保険者協議会)	・協会けんぽで発出しているリーフレットには、ジェネリック医薬品を希望する旨記載されたシールがセットになっており、健康保険証等に貼れるようになっている。
議長	・リーフレットについては、ただ今のご意見を踏まえ、事務局で対応されたい。

## (2) ジェネリック医薬品製造工場見学会について

事務局	(資料P9について説明)
大石委員 (県薬事工業協会)	・午後からの見学では、ラインが動いていないことから、見学するには午前中の方がよい。
事務局	・午前中は別の団体が入っており、午前中に設定することは困難。
大石委員 (県薬事工業協会)	・午後から見学するのであれば、まず見学してから講和をしたほうが、ラインの動きが見られる可能性が高い。 ・新薬と後発医薬品の工場を比較できるような見学会を開催したほうが説得力があると考える。県内の新薬工場に見学通路はないか。
事務局	・新薬を製造している工場には見学通路はなく、実施は困難。参加者に説明する際に、その部分について説明している。
岡寄委員 (県薬剤師会)	・昨年度開催されたセミナーの開催予定はないのか。

事務局	・昨年度は、目標値が上がったことを受けてセミナーを開催した。今年度は大きな変更はないため、開催予定はない。
岡寄委員 (県薬剤師会)	・昨年度参加された一般の方から、大変良かったとの感想を聞いた。業界向けだけでなく、一般の人向けのセミナー開催を検討してはどうか。
本間委員 (県保険者協議会)	・協会けんぽで平成 28 年 11 月に社会保険委員を対象としてセミナーを開催する予定である。
議長	・製造工場見学会については、ただ今のご意見を踏まえ、事務局で対応されたい。

### 3 その他

#### 各病院の採用薬リストを県ホームページに掲載する案について

事務局	・中小病院から、他の病院でどのような医薬品を採用しているのか知りたいという要望があったことを踏まえ、県ホームページに各病院の採用薬リストを載せたいがどうか。 ・県薬剤師会のホームページにも掲載されているが、会員でないと閲覧できない規制がある。
間中委員 (県立中央病院)	・県立中央病院では、全ての採用薬についてジェネリック医薬品が出た時点で切り替えることとなっているが、剤形・値段等を考慮し、どのジェネリックにするか決めることとなっている。 ・年 1 回又は数か月に 1 回更新することとすれば、不可能ではない。
羽太委員 (県病院薬剤師会)	・県の予算でやるメリットが県民にはあまりないのではないかと。 ・各病院のホームページに採用薬の掲載を依頼し、県のホームページではリンクをはることとした方がよいと考える。
間中委員 (県立中央病院)	・採用薬を掲載するかどうかは、各病院に判断していただいてよいのではないかと。
議長	・採用薬の掲載については、県ではリンクをはることとし、事務局で対応されたい。

#### (2) その他

大江委員 (県歯科医師会)	・国の将来的な目標である使用割合 80%については、安定供給が難しいのではないかと。
大石委員 (県薬事工業協会)	・ジェネリック医薬品の製造について、様々な規制が追加されており、設備投資の必要性もあるが努力していく。